

## 佐久穂町食・特産品開発事業「みんなで創る美味しい未来のふるさと」

### 取組に至る背景・事業の目的

- 佐久穂町の魅力ある食材（佐久穂町戦略食材）により、人々を惹き付ける新たなメニューや商品を開発し普及させることで、「食」による地域の盛り上がりを高める。
- 「食」を「観光」に結びつけるとともに「農林漁業」を活性化し、さらに「農林漁業」により「食」を個性化するといった循環効果を狙う。

### 事業内容

- チャレンジレストラン「町民キッチン」を2月に実施
- 出前レストラン「町民キッチン」としてキッチンカーやテントで町イベントに参加し、開発メニューをPR
- 「町民キッチン」協賛店を増やし、新規メニューの開発や定番メニュー化を委託
- 町の食の魅力を発信するグルメ新聞「町民キッチン」を夏と冬に発行
- 新たな加工食品として町産米を原料とする「さくほ一めん」を開発。レシピアイデア募集で54案の応募があり、うち2案が協賛飲食店でメニュー化

### 事業効果

- 町の「食材」を使用した、飲食店料理と加工食品
  - ・信州サーモンメニューを飲食店4店が定番メニュー化
  - ・そば茶オレを飲食店1店が定番メニュー化
  - ・きたやつハム、プルーンを使用した11種の新規メニュー及びさくほ一めんを使用した6種の新規メニューを開発。合計8店の協賛飲食店がメニュー化
  - ・信州サーモンの白樺スモーク及び町産米を原料とする「さくほ一めん」を商品化
- 協賛飲食店が、平成23年度の8店から平成24年度に11店に増加
- 加工商品の販売チャネルとして協賛小売店3店

### 工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- 事業は3年計画であり、1年目は開発、2年目は発信、3年目は販売を重点とする。3年目の平成25年度事業では、これまでに開発した飲食店メニューや加工食品アイデアを「販売」する事に重点を置く。さらに、新たなメニューや加工商品の「開発」、「発信」も継続して行う。

#### 【選定のポイント】

メニューの開発と合わせて、チャレンジレストランやグルメ新聞などにより発信を行った。民産官連携による取組により、協賛店舗数や新メニューも増加しており、新たな名物としての定着も期待される。



【グルメ新聞等による周知】



【開発メニューの販売】

団体名	アンテナさくほ（佐久穂町）	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	antenasakuho@town.sakuho.nagano.jp	事業費	2,707,910円
ホームページ	http://www.yachiho-kogen.jp/choumin/	支援金額	2,370,000円